

1月26日（土） 会場：フォルテワジマ イベントホール

16:00～17:00：一般演題Ⅰ A会場 座長：日本身体障害者陸上競技連盟 理事長 山本 行文 氏			P
2012年ロンドンパラリンピック大会本部トレーナー報告 ～過去3大会との比較より～	飛翔会グループ株式会社ケアウイング 日本障害者スポーツ協会トレーナー部会	門田 正久	14-15
ロンドンパラリンピック代表選手の栄養摂取状況について	東京家政大学ヒューマンライフ支援センター	内野 美恵	16-17
ロンドン2012パラリンピック競技大会・陸上競技における トレーナー活動報告	日本身体障害者陸上競技連盟 トレーナー部会	前田 為康	18-19
London 2012 Paralympic競技大会陸上競技 Classification報告	学校法人平松学園大分リハビリテーション専門学校 国際パラリンピック委員会陸上競技部門 国際クラス分け委員	指宿 立	20-21
ロンドンパラリンピックに医療班の看護師として参加して	医療法人社団恵愛会大分中村病院看護部	阿部 尚子	22-23

16:00～17:00：一般演題Ⅱ B会場 座長：大阪大学大学院 工学研究科 BE専攻 准教授 松田靖史 氏			P
義足走幅跳選手（F42/44）における 助走および幅跳動作に関する事例研究	和歌山県立医科大学みらい医療推進センター	川端 浩一	25-26
車椅子ハイキングのための簡易大径 フリーキャスターについて	パシフィックサブライ株式会社 エンジニア	中村 亮介	27-28
新しい車いすスポーツ新しい”ヘバイストス2 by 2”	川村義肢株式会社	井上 友希	29-30
ハンドバイク駆動特性の検討	オットーボック・ジャパン株式会社 義肢装具士	岩崎 満男	31-32
障害者水泳のクラス別の障害とその成績	和歌山県立医科大学みらい医療推進センター	石倉 公彦	33-34

17:10～18:10：一般演題Ⅲ A会場 座長：国立障害者リハビリテーションセンター病院 リハビリテーション部 樋口 幸治 氏			P
聴覚障害者スポーツにおけるメディカルサポートの現状	国立行政法人筑波技術大学障害者高等教育研究 支援センター障害者基礎教育研究部 助教	中島 幸則	36-37
障害者スポーツの運動強度について	慈泉会 相澤病院 理学療法士	斉藤 諒二	38-39
身体障害者水泳選手におけるスポーツ障害の現状と課題	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 九州身体障害者水泳連盟 理学療法士	喜瀬 真雄	40-41
第12回全国障害者スポーツ大会ぎふ清流大会広島市選手 団帯同報告	医療法人和光和光整形外科クリニック	佐藤 誠亮	42-43
車椅子バスケットボール男子日本代表選手のメディカル チェック	茨城県立医療大学医科学センター医師	和田野 安良	44-45

17:10～18:10：一般演題Ⅳ B会場 座長：飛翔会グループ（株）ケアウイング 代表取締役 門田 正久 氏			P
障害者スポーツ統括団体の組織と選手育成に関する研究	金沢星稜大学 人間科学部	井上 明浩	47-48
車いすハーフマラソン選手の競技中の身体活動量の実態調 査	医療法人医仁会 さくら総合病院 リハビリテーション科 理学療法士	上総 直樹	49-50
近年のパラリンピックにおける記録からみた陸上競技視覚 障害短距離種目の傾向とこれからの選手育成及び強化につ いて	日本大学 教員	近藤 克之	51-52
身体障害者陸上競技選手に対するクラス・ウェーブパーテ スト～体幹機能評価としての有用性～	日本身体障害者陸上競技連盟 トレーナー部会	武田 正幸	53-54
車いすアスリートのエネルギー消費量測定の事例報告	国立スポーツ科学センター	元永 恵子	55-56

18:30～ 懇親会 会場：フォルテワジマ7階 「VABENE」 イタリアンレストラン

1月27日（日） 会場：フォルテワジマ4F イベントホール

9:30～10:30：一般演題V A会場 座長：星城大学リハビリテーション学部 教授 大川 裕行 氏			P
内部障害・高次脳機能障害・がん患者を対象とした体力づくりの取り組み～スポテン・プログラムについて～	国立成育医療研究センター 東京慈恵医科大学 リハビリテーション講座医師	上出 杏里	58-59
脳血管障害片麻痺者の水中歩行の特性と効果	国立障害者リハビリテーションセンター学院	横山 知里	60-61
サウンドピンポン学習を通して語られる「共生社会」へのまなざし	東京学芸大学・東京学芸大学附属竹早中学校校長	渡辺 雅之	62-63
頸髄損傷車いすテニス選手におけるメディカルサポート（第二報）	西九州大学リハビリテーション学部教授	庄野 菜穂子	64-65
脳性麻痺者の科学的トレーニングに関する基礎研究2	筑波技術大学 保健科学部 保健学科 理学療法学専攻 教授	石塚 和重	66-67

9:30～10:30：一般演題VI B会場 座長：大分リハビリテーション学院 指宿 立 氏			P
ブラインドゴルフに関するアンケートによる現状調査	筑波技術大学 大学院 技術科学研究科 保健科学専攻 理学療法学コース	鈴木 一士	69-70
学生目線からみた障害者スポーツ	北海道工業大学医療工学部義肢装具学科 学生	須藤 佑介	71-72
さがりくりんピック 2012～障害児ジュニア陸上競技教室&佐賀県障害児・者陸上競技記録会～の報告	佐賀大学全学教育機構	福嶋 利浩	73-74
障害児のスポーツ環境整備に向けたこれまでの取り組みと今後の展望	大分県障害者スポーツ指導協議会 理事・育成部長	阿部 友輝	75-76
運動を苦手とする広汎性発達障害児における運動発達調査－幼児期2例を対象として－	国立障害者リハビリテーションセンター学院	一箭 良枝	77-78

10:40～11:45：一般演題VII A会場 座長：至学館大学 教授 大槻 洋也 氏			P
アフリカで身障者スポーツが盛んな背景－ロンドンパラリンピックとアフリカ競技大会の事例から	(公財) 日本陸上競技連盟	関 幸生	80-81
障害者競技スポーツ医・科学・情報サポート推進事業－心理基礎調査研究－	国立スポーツ科学センター映像技術者	山崎 将幸	82-83
ロンドンパラリンピック医務報告	岐阜大学医学部附属病院 整形外科リハビリテーション部講師	青木 隆明	84-85
毎日新聞が報じたパラリンピック記事について	毎日文化センター広島	山口 一朗	86-87
障害者競技スポーツ医・科学・情報サポート推進事業－メンタルトレーニング指導実践事例－	佐賀大学 研究員	中山 正教	88-89

10:40～11:50：一般演題VIII B会場 座長：茨城県立医療大学医科学センター 和田野 安良 氏			P
男子車椅子バスケットボール日本代表選手における WUSPI について	茨城県立医療大学 理学療法学科	唐澤 幹男	91-92
男子車椅子バスケットボール代表候補選手の栄養摂取状況	茨城県立医療大学 作業療法学科	堀田 和司	93-94
胸椎モビライゼーションがシッティングバレーボールのブロック動作に与える影響-頭部前方に着目して-	昭泉会 馬場病院 リハビリテーションセンター	小牧 隼人	95-96
脊髄損傷者に対する褥瘡検診	和歌山県立医科大学リハビリテーション科 医師	幸田 剣	97-98
男子車椅子バスケットボール日本代表選手のdeep tissue injury	茨城県立医療大学付属病院 整形外科	六崎 裕高	99-100
障害者スポーツの普及におけるリハビリテーション専門病院の役割～ツインバスケットボール競技を介して～	吉備高原医療リハビリテーションセンター 中央リハビリテーション部	駒形 忠臣	101-102